

# 米国Deciphera Pharmaceuticals社 買収契約締結について

2024年4月30日

## 将来の見通しに関する記述についての注意事項

本公表文書は、小野薬品工業株式会社（以下、小野薬品）、Deciphera Pharmaceuticals, Inc.（以下、「Deciphera」）、及び小野薬品によるDecipheraの買収提案（以下、「本買収提案」）に関するものであり、本買収提案、統合後の会社の事業、及び本買収提案により期待される利益に関する明示的又は黙示的な将来の見通しに関する記述を含み、将来の事象並びに小野薬品及びDecipheraの将来の業績に関するリスク及び不確実性を伴います。実際の事象又は結果は、これらの将来予想に関する記述と大きく異なる可能性があります。「予定」、「可能性がある」、「だろう」、「はずである」、「期待する」、「計画する」、「予想する」、「意図する」、「信じる」、「推定する」、「予測する」、「企画する」、「想定する」、「継続する」、「目標とする」、これらの言葉のバリエーション、及び類似表現などの言葉は、このような将来見通しに関する記述を識別することを意図していますが、すべての将来見通しに関する記述がこれらの識別的な言葉を含んでいるわけではありません。このような将来予想に関する記述の例としては、明示的又は黙示的なものを含みますが、これらに限定されるものではありません。提案された取引及び関連事項、完了条件、将来の業績及び機会、完了後の事業及び両社の事業の見通しに関する記述、小野薬品及びDecipheraの製品、製品研究、製品開発、製品導入及び製品承認並びにそれらに関連する協力に関連するものを含む将来の事業に関する目標、計画、目的又は目標に関する記述、財務業績その他の財務指標の予測又は目標を含む記述、法的手続など偶発事象の結果に関する記述、並びにそのような記述の基礎となる、又はそのような記述に関連する仮定に関する記述が含まれますが、これらに限定されるものではありません。これらの記述は、現在の計画、見積もり、予測に基づいています。将来の見通しに関する記述は、その性質上、一般的なものであれ特定のものであれ、固有のリスクと不確実性を伴います。本コミュニケーションに記載されているものを含め、多くの重要な要因により、実際の結果が将来見通しに関する記述で意図されているものと大きく異なる可能性があります。将来の業績に影響を及ぼし、将来の見通しに関する記述を不正確にする可能性のある要因には、次のものが含まれますが、これらに限定されるものではありません。本取引（公開買付け及び合併を含む。）の時期に関する不確実性、Decipheraの株主のうち何名が本公開買付けに応募するかに関する不確実性、競合する買付けが行われる可能性、政府機関が本取引の完了を禁止、遅延、又は承認拒否（又は不利な条件又は制限を条件とする承認のみを）する可能性を含む本取引の様々な完了条件が満たされない、又は放棄されない可能性、規制当局の承認又は措置がある場合、その時期又は結果を予測することが困難であること、本取引が小野薬品及びDecipheraが期待する期間内に完了しない、又は全く完了しない可能性、本取引により期待される利益を期待される期間内に又は全く実現できない可能性、本取引が従業員、他のビジネス・パートナー又は政府機関との関係に及ぼす影響、本取引の発表又は完了に起因するビジネス関係への潜在的な悪影響又は変化、本取引に起因する重大又は予期せぬコスト、費用又は経費、本取引の公表又は本買収提案の完了がDecipheraの普通株式の市場価格及び／又は小野薬品若しくはDecipheraの業績に及ぼす悪影響、潜在的な負債、本買収提案に関連する訴訟及び／又は規制措置のリスク、金利及び為替レートの変動を含む世界的及び地域的な政治・経済情勢、研究及び／又は開発に関するプロジェクトの遅延又は失敗、予期せぬ特許の喪失、供給及び生産の中断、製品回収、予期せぬ契約違反又は契約解除、小野薬品又はDecipheraの製品に対する政府命令又は市場主導の価格低下、競合製品の導入、情報技術への依存、小野薬品又はDecipheraが医薬品又は医薬品候補の有効性及び安全性を滞りなく実証する能力、小野薬品又はDecipheraの製品候補の前臨床又は臨床結果（当該製品候補のさらなる開発を支持しない可能性）、DecipheraがQINLOCK®を商業化し、将来承認される可能性のある医薬品又は適応症に関する販売計画を実行する能力、小野薬品、Deciphera及びそれらの共同研究者が研究及び臨床プログラムを継続する能力、製造物責任、法的手続及び調査の露見、費用償還、知的財産権保護、試験・承認・製造・販売に関する規制管理を含む法律及び関連する解釈の変更、倫理的なマーケティング慣行の遵守に関する認識又は実際の失敗、国内外企業への投資並びに売却コスト及び経費の予期せぬ増加、適切な従業員の採用及び維持の失敗、コンプライアンス文化の維持の失敗、疫病、パンデミックその他の公衆衛生上の危機及びそれらが小野薬品とDecipheraのそれぞれの事業、業務、サプライチェーン、患者の登録及び維持、臨床試験、戦略、目標及び予想されるマイルストーンに及ぼす影響、などを含みます。これらに関する事項その他の重要なリスクのより詳細な説明は、Decipheraに係る2023年12月31日終了年度の年次報告書（Form 10-K）及び米国証券取引委員会（以下「SEC」）に随時提出される可能性のあるその他の書類を含む、DiamondのSECへの提出書類、並びに小野薬品及びその完全子会社である特別買収目的会社（以下「買収法人」）が提出するSchedule TO及び関連公開買付書類、並びに小野薬品が提出するSchedule 14D-9に記載されています。

いかなる将来見通しに関する記述も、本公表の日付時点におけるものであり、小野薬品及びDecipheraの経営陣の現在の認識及び判断に基づいてなされたものであり、閲覧者は小野薬品又はDecipheraによる将来見通しに関する記述を信頼しないようご注意ください。ここに記載されない要因は、将来見通しに関する記述の実現にさらなる重大な障害をもたらす可能性があります。法律で義務付けられている場合を除き、小野薬品及びDecipheraは、本公表文書の配布後、新たな情報、将来の出来事その他の結果にかかわらず、いかなる将来見通しに関する記述も更新又は修正する責任を負担せず、その義務を負いません。

## 追加情報とその入手先

本公表文書で言及されている公開買付けはまだ開始されていません。本公表文書は情報提供のみを目的としたものであり、Decipheraの証券の購入提案でも売却提案の勧誘でもなく、Deciphera、小野薬品又は買収法人がSECに提出する公開買付資料の代替資料でもありません。本公開買付けは、小野薬品が米国証券取引委員会（SEC）に提出する予定の買付提案及び関連する公開買付説明書に従ってのみ行われます。公開買付けが開始された時点で、小野薬品はSchedule TOに公開買付説明書を提出し、その後DecipheraはSchedule 14D-9に公開買付けに関する勧誘／推奨説明書をSECに提出します。Decipheraの株主及びその他の投資家の皆様におかれましては、本公開買付けに関する資料（買付提案、関連する送達状その他の公開買付けに関する文書を含みます。）を注意深くお読みになるようお願いいたします。これらの資料には、Decipheraの株主及びその他の投資家が本公開買付けに関して何らかの意思決定を行う前に考慮すべき重要な情報が含まれています。本公開買付け、関連する送達状その他の公開買付け関連文書、及び勧誘／推奨説明書は、Decipheraの全株主に無償で提供され、SECのウェブサイト（[www.sec.gov](http://www.sec.gov)）からも無償で入手できます。また、DecipheraがSECに提出した書類の写しは、Decipheraのウェブサイト（<https://investors.deciphera.com/sec-filings>）で無償で入手できます。

本公開買付け、関連する送達状その他の公開買付けに関する文書、及び勧誘／推奨説明書に加え、DecipheraはSECに年次報告書、四半期報告書、最新報告書その他の情報を開示しています。Decipheraが提出した報告書その他の情報は、100 F Street, N.E., Washington, D.C. 20549にあるSEC公開資料室で閲覧及び複写することができます。DecipheraのSECへの提出書類は、市販の文書検索サービスやSECが管理するウェブサイト（<http://www.sec.gov>）からも無償で入手できます。

- 01** 本買収契約の概要
- 02** 小野薬品の成長戦略
- 03** Deciphera Pharmaceuticals社の概要
- 04** 本買収の戦略的意義

01

## 本買収契約の概要

# 本買収契約の概要

対象会社	Deciphera Pharmaceuticals, Inc. (NASDAQ: DCPH)
買収価格	一株当たり25.60米ドルで現金にて取得、総額約24億米ドル (2024年4月26日の終値(14.65米ドル/株)に対して74.7%、同日より過去30日の売買高加重平均株価に対して68.8%のプレミアム)
買収の方法・ 資金調達方法	本買収のために設立する当社の完全子会社によるDeciphera社の全ての発行済み株式の現金による公開買付け、及びその後の同社のDeciphera社との合併により、Deciphera社が当社の完全子会社として存続 ／買収資金は手元資金及び銀行借入れにより調達
クロージング	議決権ベースで50%超のDeciphera社株主が当社の株式公開買付に応じること、独占禁止法関連当局の承認、及びその他のクロージング条件の充足が前提
スケジュール	2024年度第2四半期に買収完了予定
買収完了後の 事業運営	Decipheraは小野のグループの一員として本社をマサチューセッツ州ウォルサムに置き、独立して事業を運営
業績への影響	本買収による業績への影響は現在精査中 (5月9日に公表予定の2025年3月期 連結業績予想につきましても、現在精査中のため、本買収による影響を織り込まずに公表いたします。今後報告すべき事由が発生した場合は速やかに公表いたします。)

02

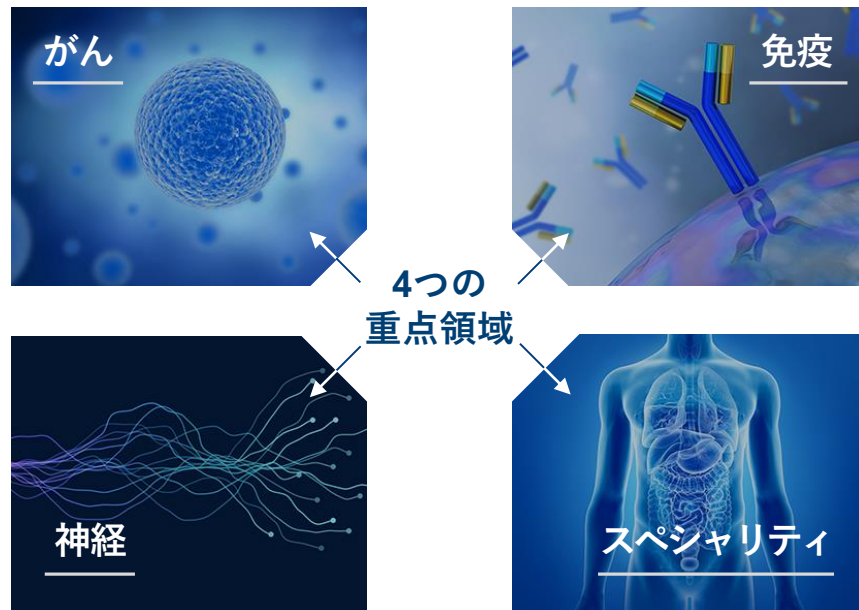
## 小野薬品の成長戦略

# グローバルスペシャリティファーマに向けた成長戦略

革新的な新薬を世界中に提供し続ける「グローバルスペシャリティファーマ」を目指し、「グローバルパイプラインの強化」と「欧米自販の実現」等に戦略的に取り組んでいる

## 成長戦略：パイプライン強化とグローバル開発の加速

- 研究本部・開発本部・事業戦略本部の連携による、4つの重点領域でのパイプライン拡充
- 臨床試験から申請承認までを自社で実施できるグローバル開発体制の構築



## 成長戦略：欧米自販の実現

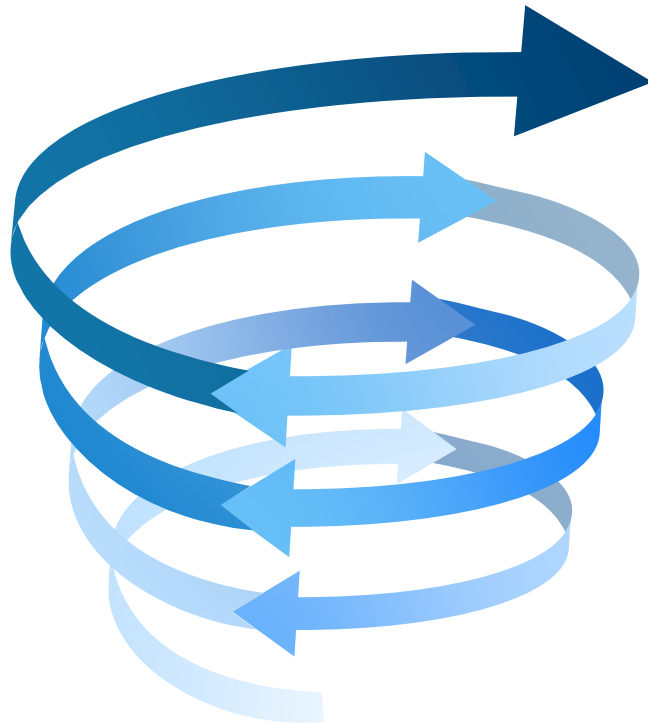
- マサチューセッツ州ケンブリッジへのオフィス移転
- コマーシャル部門・ファーマコヴィジランス部門・メディカル部門等で人材を採用し、Velexbu®の上市に向けた自販体制を構築中（現在、米国約120名、欧州約50名）





# グローバルスペシャリティファーマに向けた成長戦略

M&Aによる「有望なグローバルパイプラインの獲得」と「欧米販売体制の強化」は、グローバルスペシャリティファーマへの成長をさらに加速させる1つの重要な手段



①' さらに有望なグローバルパイプラインの創製／獲得・開発・販売

③ グローバルプレゼンスの向上、成長により得られた利益の再投資

② 欧米自社販売体制の強化によるパイプラインの価値最大化

① 有望なグローバルパイプラインの創製／獲得・開発

# 03

## Deciphera Pharmaceuticals社の概要

がんを対象としたキナーゼ阻害剤の研究・開発・販売に注力する米国ベンチャー企業（2003年設立）

拠点	<p>【米国】 マサチューセッツ州ウォルサム（本社）、カンザス州ローレンス（研究）</p> <p>【欧州】 ツーク（スイス）、ミュンヘン（ドイツ）、パリ（フランス）、ミラノ（イタリア）、バルセロナ（スペイン）、アムステルダム（オランダ）</p>																
代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Steven L. Hoerter（President, Chief Executive Officer）</li> </ul>																
主な製品・開発化合物	<ul style="list-style-type: none"> <li>● QINLOCK® 4th line GIST<sup>1)</sup>／欧米含む40カ国以上で上市、一部の<sup>2)</sup>2nd line GIST／Phase 3</li> <li>● Vimseltinib TGCT<sup>3)</sup>／欧米申請準備中、cGVHD<sup>4)</sup>／2024年下期Phase2開始予定</li> <li>● DCC-3116 KRAS G12C変異陽性がん及びGIST／Phase 1b</li> <li>● DCC-3084 がん／Phase 1準備</li> <li>● DCC-3009 GIST／2024年IND予定</li> </ul>																
直近3年の業績及び財政状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>FY 2021</th> <th>FY 2022</th> <th>FY 2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>売上高（千米ドル）</td> <td>96,148</td> <td>134,036</td> <td>163,356</td> </tr> <tr> <td>純資産（千米ドル）</td> <td>304,720</td> <td>341,691</td> <td>350,916</td> </tr> <tr> <td>1株当たり純資産（米ドル）</td> <td>5.25</td> <td>4.53</td> <td>4.13</td> </tr> </tbody> </table>		FY 2021	FY 2022	FY 2023	売上高（千米ドル）	96,148	134,036	163,356	純資産（千米ドル）	304,720	341,691	350,916	1株当たり純資産（米ドル）	5.25	4.53	4.13
	FY 2021	FY 2022	FY 2023														
売上高（千米ドル）	96,148	134,036	163,356														
純資産（千米ドル）	304,720	341,691	350,916														
1株当たり純資産（米ドル）	5.25	4.53	4.13														

1) 消化管間質腫瘍（Gastrointestinal Stromal Tumor）, 2) c-KIT遺伝子exon 11+17/18変異陽性患者  
 3) 腱滑膜巨細胞腫（Tenosynovial Giant Cell Tumor）, 4) 慢性移植片対宿主病（chronic Graft-Versus-Host Disease）

# Deciphera社の強み・魅力

がん領域で5つの製品・パイプラインを自社創薬、研究・開発・販売のそれぞれで実績を積んでいる

## 製品と臨床開発後期段階のパイプライン

- QINLOCK®は欧米含む40カ国以上で承認（2023年売上高は163Mドル）、早期治療ラインへの適応拡大を計画
- VimseltinibはTGCTを対象に2024年欧米申請予定

## 欧米での販売体制

- QINLOCK®：米国及び欧州6カ国に自社販売組織
- Vimseltinib：QINLOCK®とターゲット医師の70～80%が重複、QINLOCK®の販売インフラの最大限活用が可能

## 臨床開発早期段階のパイプライン

- ファーストインクラスの作用機序を含め、がん領域で3つの臨床開発早期化合物を自社創製

## 研究開発プラットフォーム

- 独自の創薬プラットフォームであるスイッチ・コントロール・プラットフォームによる創薬活動
- 臨床入りしている化合物は全て自社創製品

## マネジメントチーム

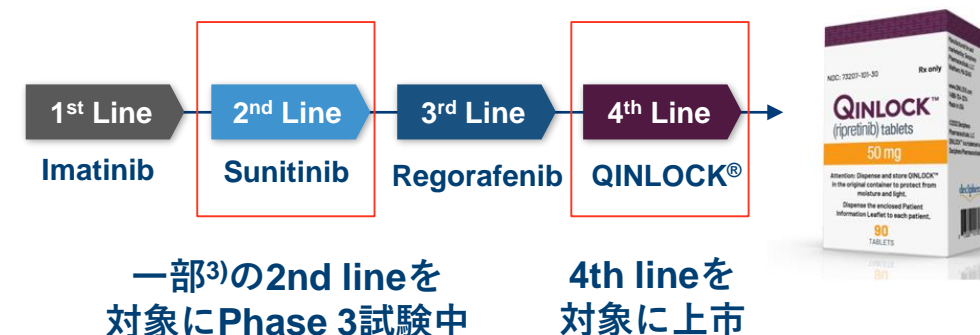
- CEOを含め、マネジメント陣の製薬業界における豊富な経験

# QINLOCK®の概要

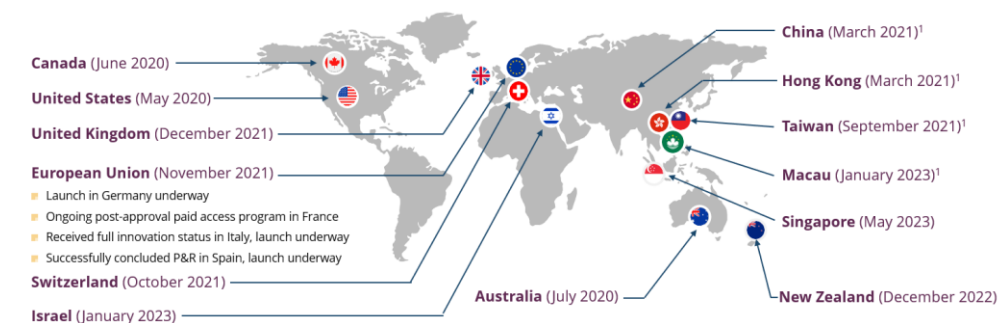
4th line GIST<sup>1)</sup>を対象に欧米を含めた全世界40カ国以上で承認されている唯一の治療薬

疾患の特徴	消化管壁にできる悪性腫瘍の一種 欧米それぞれの罹患者数は約4,000~5,000人 <sup>2)</sup>
作用機序/ モダリティ	KIT阻害剤/低分子化合物（経口投与）
開発状況	① 4th line GIST：上市済（米2020年、欧2021年） ② 一部 <sup>3)</sup> の2nd line GIST：Phase 3試験実施中 共に、 <b>米国FDAより画期的治療薬に指定</b>
販売実績	2023年の全世界売上高は163Mドル
他社提携	Greater Chinaの権利を中国Zai Lab社に導出済（2019年）

## QINLOCK®のポジショニング（米国）



## 40カ国以上で承認取得



1) 消化管間質腫瘍（Gastrointestinal Stromal Tumor）  
 2) 弊社市場調査  
 3) c-KIT遺伝子exon 11+17/18変異陽性の患者

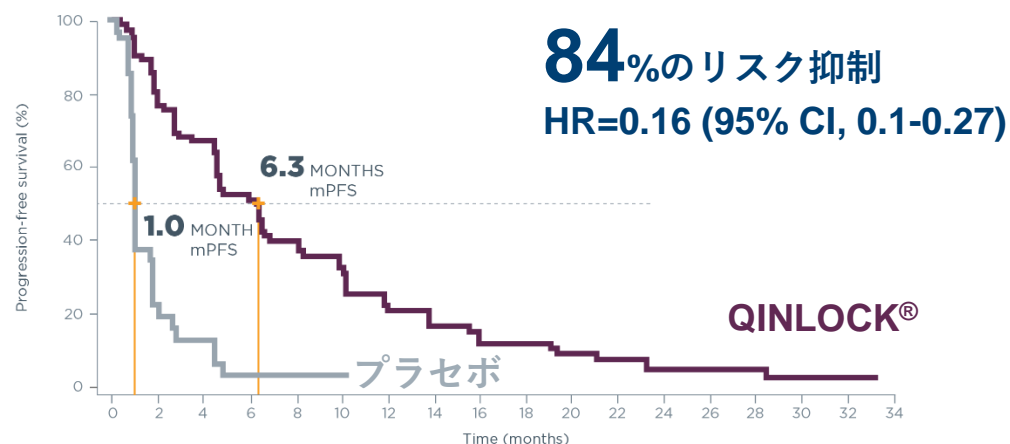
# ピボタル試験 (INVICTUS) : 4th line GISTに対する有効性



プラセボ群に対し統計学的に有意なPFSの延長、臨床的意義のあるOSの延長が示された  
 (米国FDAより画期的治療薬指定)

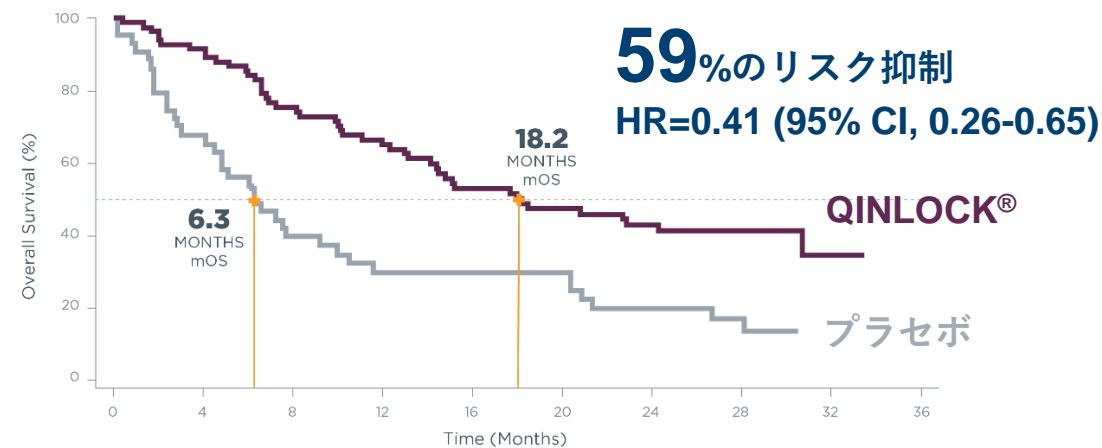
デザイン	無作為化・二重盲検・プラセボ対照Phase 3試験 (12か国29施設で実施)
コホート	QINLOCK® 150mg 1日1回投与群 (N=80)、プラセボ群 (N=40)
安全性	Grade 3/4の有害事象の発生頻度は両コホートで同等 (QINLOCK®群 49.4%、プラセボ群 44.2%)

## 主要評価項目 : PFS



Number of patients at risk		0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32	34
QINLOCK	85	65	52	37	28	22	15	11	9	8	6	4	2	2	2	1	1	0	
Placebo	44	7	4	1	1	1	0												

## 副次評価項目 : OS



Number of patients at risk		0	4	8	12	16	20	24	28	32	36
QINLOCK	85	76	59	49	39	32	29	18	3	0	
Placebo	44	29	17	12	12	12	8	5	0		

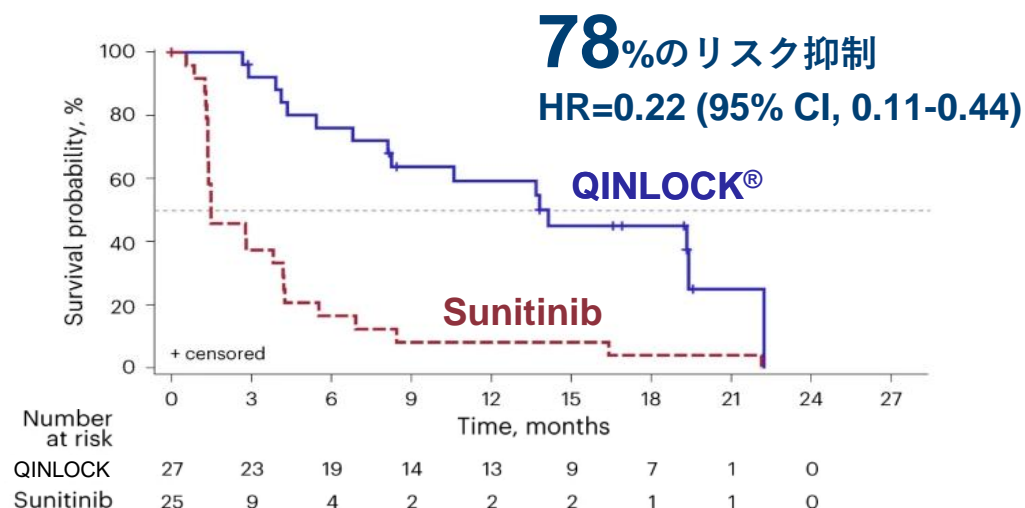
# ピボタル試験 (INTRIGUE) : 2nd line GIST 後解析結果



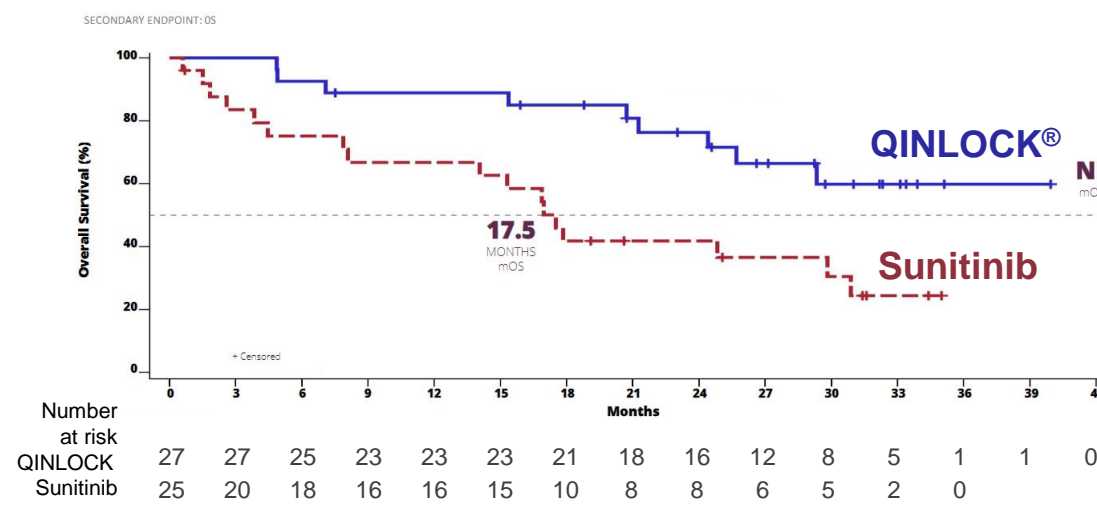
主要評価項目である全集団におけるPFSの延長は未達であったが、c-KIT exon 11+17/18変異を有する患者集団に対して高い有効性が示された (米国FDAより画期的治療薬指定)

デザイン	無作為化・オープンラベル・Sunitinib対照Phase 3試験 / 22か国121施設で実施
コホート	QINLOCK® 150mg 1日1回投与群 (N=226)、Sunitinib 50mg 1日1回 <sup>1)</sup> 投与群 (N=227)

## PFS (KIT exon 11+17/18変異に対する解析)



## OS (KIT exon 11+17/18変異に対する解析)



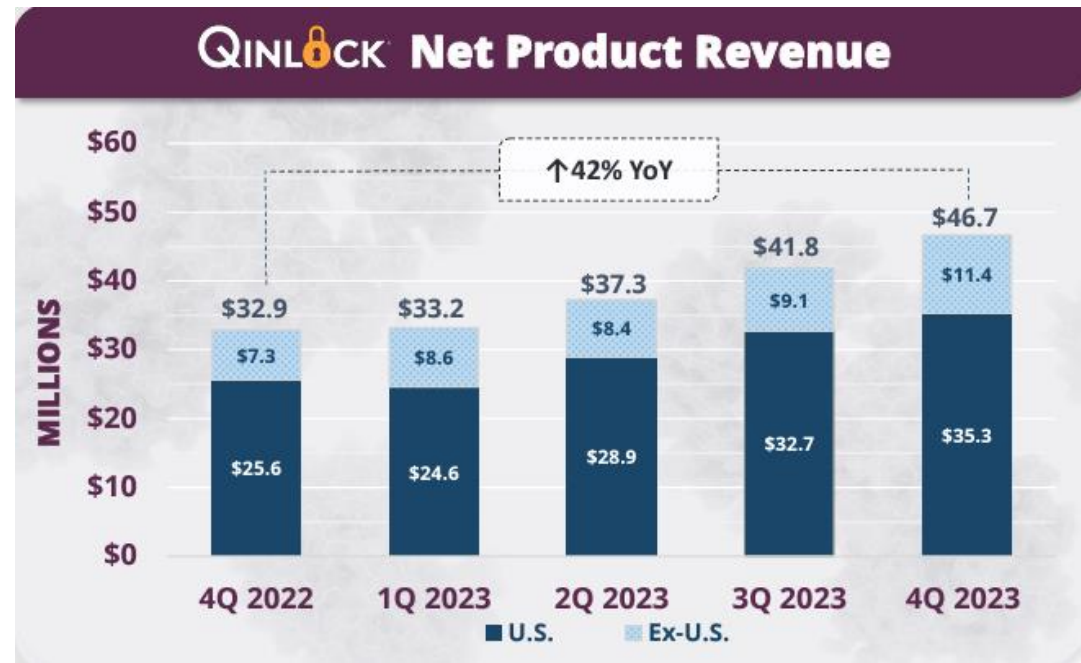
KIT exon 11+17/18変異陽性の2nd line GIST患者を対象とした新規Phase 3 (INSIGHT) 試験を実施中

# QINLOCK®の市場ポテンシャル

現在の適応症（4th line以降GIST）は事業拡大フェーズにあり、効能追加及び流通地域拡大による更なる市場拡大が期待

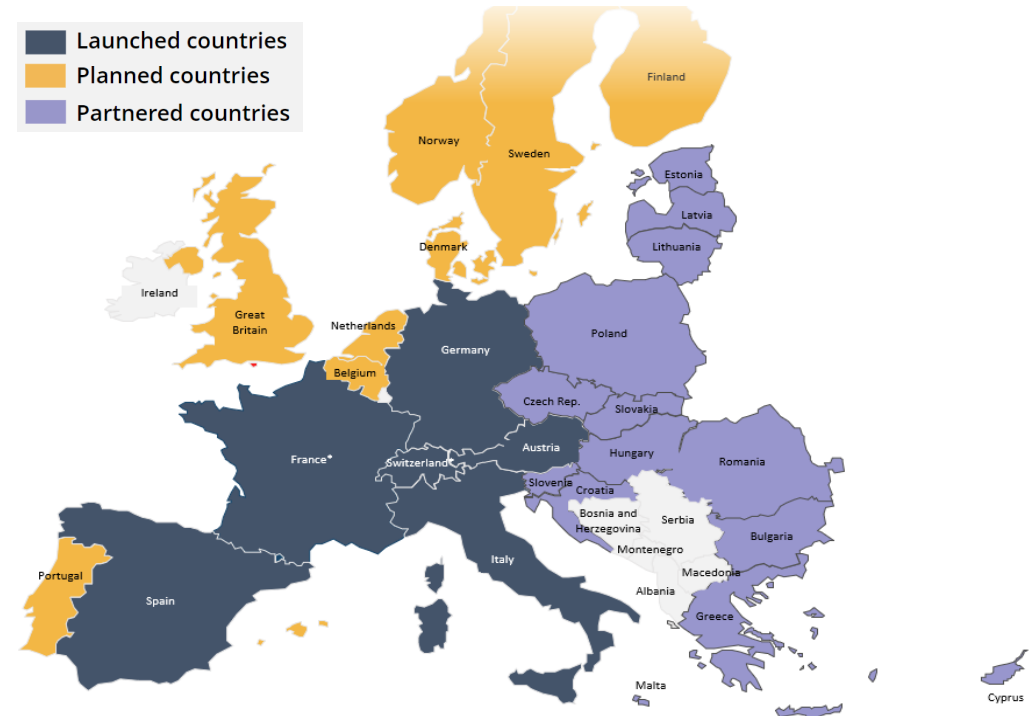
## 収益の成長（四半期毎）

4th line GISTにおいて、四半期毎に収益が拡大  
一部の<sup>1)</sup>2nd line GISTへの効能追加により更なる成長が期待



## 欧州販売体制構築状況

欧州6カ国において自社販売活動を展開<sup>2)</sup>  
提携活動を含めて今後も販路拡大に取り組む



1) c-KIT遺伝子exon 11+17/18変異陽性の患者

2) フランスはExpanded Access Program、スイスではNamed Patient Salesによる流通  
2024年2月 Deciphera 社会社概要プレゼン



# Vimseltinibの概要

TGCT<sup>1)</sup>を対象に欧米で申請準備中の、ベストインクラスの可能性のあるCSF1R阻害剤

<p>疾患の特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 関節に生じる良性腫瘍</li> <li>● 進行は緩やかだが、関節痛・関節可動域の減少・腫脹等によりQOLが低下</li> <li>● 罹患者数は欧米それぞれ約15,000人<sup>2)</sup></li> </ul>	
<p>作用機序／モダリティ</p>	<p>CSF1R阻害剤／低分子化合物（経口投与）</p>	
<p>開発状況</p>	<p>①TGCT：Phase 3試験成功、欧米申請（米国 2024年2Q、欧州2024年3Q）準備中 ②cGVHD<sup>3)</sup>：2024年2HにPhase 2試験開始予定</p>	
<p>販売戦略</p>	<p>米国において、GIST及びTGCTのターゲット医師の70～80%が重複<sup>2)</sup>、QINLOCK®の販売体制を活用した効率よい販売活動が可能</p>	

## Vimseltinibのポジショニング（米国）



当該ポジショニングでのPhase 3（MOTION）試験成功

## 欧米の市場規模

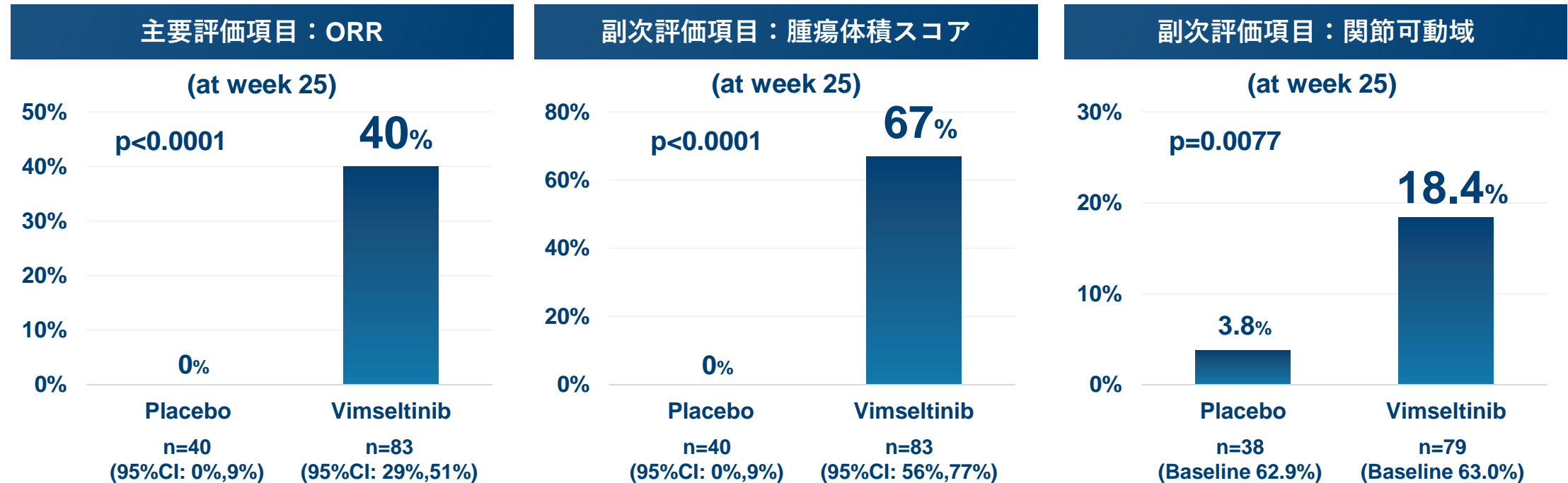


1) 腱滑膜巨細胞腫（Tenosynovial Giant Cell Tumor）  
2) 2024年2月時点（Deciphera会社概要プレゼン）  
3) 慢性移植片対宿主病（Chronic Graft-Versus-Host Disease）

# ピボタル試験 (MOTION) : TGCTに対する有効性

プラセボ群に対し統計学的に有意なORRの向上と、腫瘍体積スコアの減少、関節可動域等の6つの副次評価項目の全てで改善が示された

<b>デザイン</b>	無作為化・二重盲検 <sup>1)</sup> ・プラセボ薬対象Phase 3試験 / 13か国35施設で実施
<b>コホート</b>	Vimseltinib 30mg 週2回投与群 (N=83)、プラセボ群 <sup>1)</sup> (N=40)



グラフはDeciphera社Earnings Conference Call資料より編集

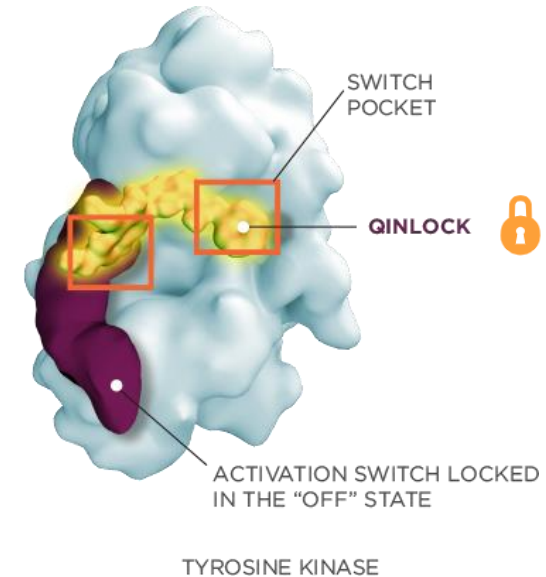
1) 治療24週までは二重盲検、それ以降はオープンラベルの長期フォローアップ (プラセボ群もVimseltinib群にクロスオーバー可能)

# Deciphera社のパイプライン

独自のスイッチ・コントロール・プラットフォームにより、下記5化合物を自社創薬

パイプライン	標的	対象疾患	ステージ	起源
QINLOCK®	KIT	4th line以降 GIST	P3	deciphera
		一部 <sup>1)</sup> の2nd line GIST		
Vimseltinib	CSF-1R	TGCT	欧米申請準備中	deciphera
		cGVHD	2024年下期P2開始予定	
DCC-3116	ULK	KRAS G12C変異 陽性がん及びGIST	P1b	deciphera
DCC-3084	Pan-RAF	がん	P1準備	deciphera
DCC-3009	Pan-KIT	GIST	2024年にIND予定	deciphera

## スイッチコントロールキナーゼ阻害剤

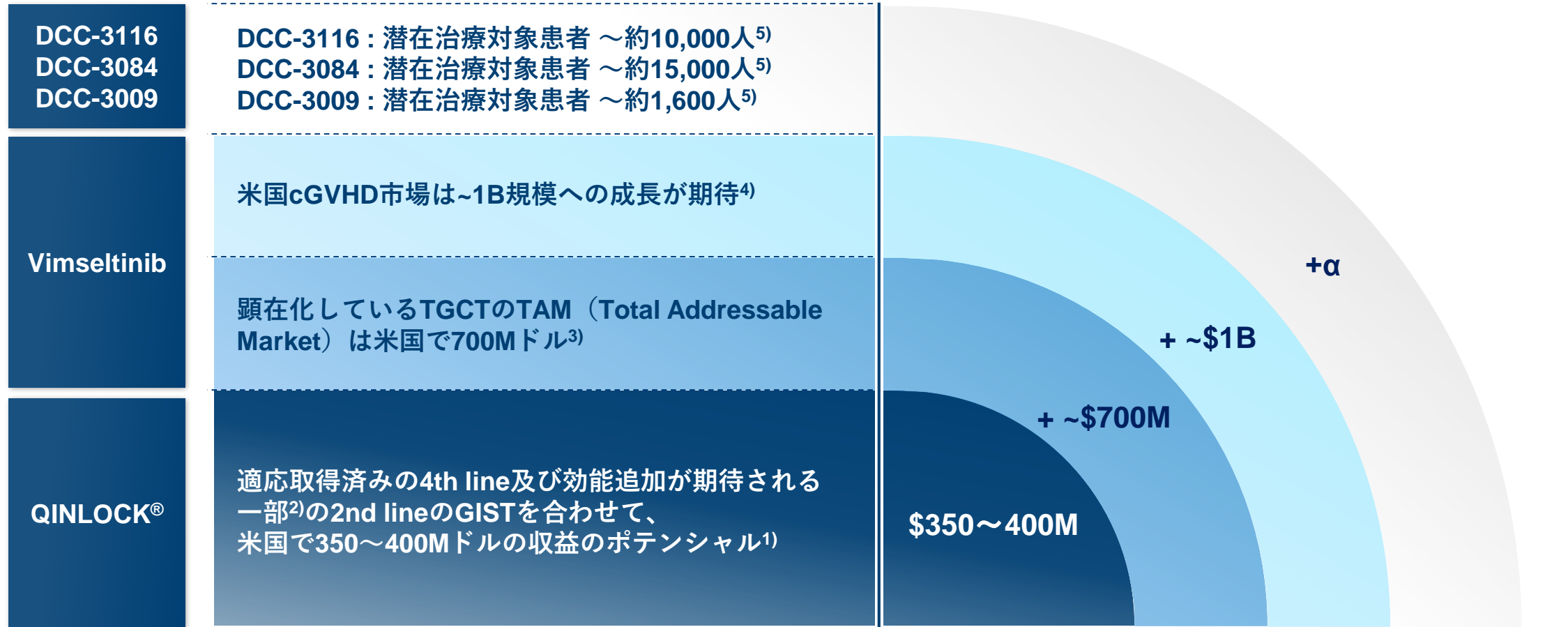


キナーゼのスイッチ領域及び活性化ループに結合し、不活性化状態のままになるようカギをかけるコンセプト

1) c-KIT遺伝子 exon 11+17/18変異陽性患者  
Deciphera社QINLOCK特設HP

# Deciphera社パイプラインの市場ポテンシャル

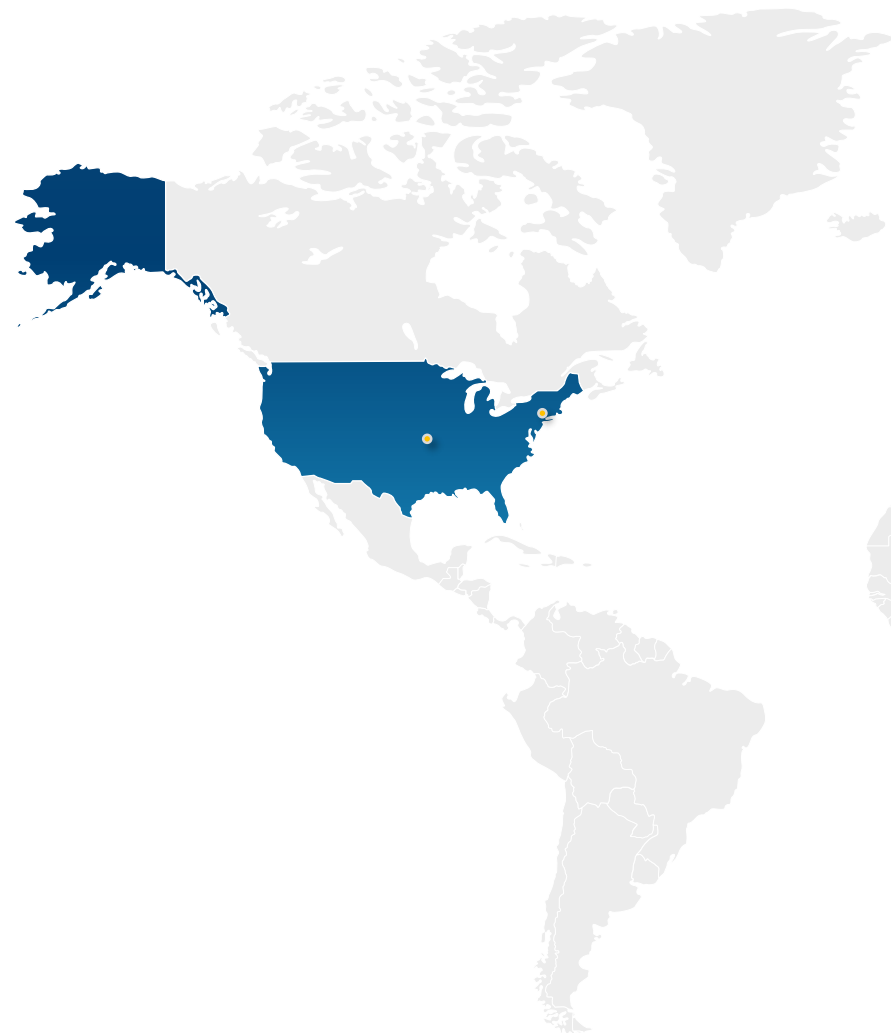
QINLOCK®及びVimseltinibの2剤で全世界で1Bドルのピーク売上のポテンシャル  
 Vimseltinibの効能追加やその他の早期化合物の上市により更なる収益拡大の可能性が期待



1), 3) Deciphera社 2024年2月 Corporate Presentation  
 2) c-KIT遺伝子exon 11+17/18変異陽性患者  
 4) 小野社内市場調査  
 5) 作用機序等から想定される適応症における米国の潜在治療対象患者数を小野で試算

# Deciphera社の拠点・組織体制

研究・開発・CMC機能は米国を拠点とし、販売体制は米国及び欧州6カ国に構築（全従業員数355名<sup>1)</sup>）



## 米国拠点

【本社（開発・薬事・販売・事業開発・CMC）】  
場所：マサチューセッツ州ウォルサム

【研究】  
場所：カンザス州ローレンス

## 欧州拠点

【欧州販売本社】  
場所：ツーク（スイス）

【欧州販売支店】  
場所：ミュンヘン（ドイツ）、パリ（フランス）、  
ミラノ（イタリア）、バルセロナ（スペイン）、  
アムステルダム（オランダ）

# 04

## 本買収の戦略的意義

# 本買収の戦略的意義

Deciphera社買収はグローバルスペシャリティファーマへの成長ドライバーの1つとして重要

## がん領域の パイプライン強化

- 欧米にて販売中の製品（QINLOCK®）の獲得
- 2024年Q2/Q3にVimseltinibの欧米承認申請
- 複数の臨床化合物の獲得



- 短中期的な収益の補填
- 今後見込まれる糖尿病治療薬の特許切れ、PD-1関連ロイヤリティ収入減への対応

## 欧米の 開発・販売組織の 強化

- がん・スペシャリティ領域で実績のある開発・販売組織の獲得



- 米国に加え、欧州展開を加速
- 将来の提携活動において強みとなり得る

## キナーゼ創薬力の 更なる強化

- 複数のパイプラインを自社創製した実績のある研究組織からのノウハウ獲得



- 継続的なパイプラインの創出による中長期的な成長に寄与

# 買収により補完される両社の強みと経験

両社の強み・経験を活かし、グローバルスペシャリティファーマへの成長を加速させる



グローバルスペシャリティ  
ファーマへの成長加速

<p>がん免疫・血液がん領域での 開発・販売実績</p>	<p>固形がん領域での 開発・販売実績</p>	<p>がん領域でのプレゼンス向上</p>
<p>日本・アジアでの開発・販売実績 欧米での開発実績</p>	<p>欧米での開発・販売実績</p>	<p>グローバルでの開発・販売力強化</p>
<p>研究開発への潤沢な投資</p>	<p>高度な創薬研究開発ノウハウ</p>	<p>継続的なパイプラインの創製</p>
<p>様々なモダリティへの研究投資/ オープンイノベーション</p>	<p>キナーゼ領域における 独自のプラットフォーム</p>	<p>新たなイノベーションの創出</p>



# 買収によるグローバルパイプラインの拡充

がん領域を中心にグローバルパイプライン<sup>1)</sup>数が増加し、血液領域及び消化器領域におけるフランチャイズの強化が期待

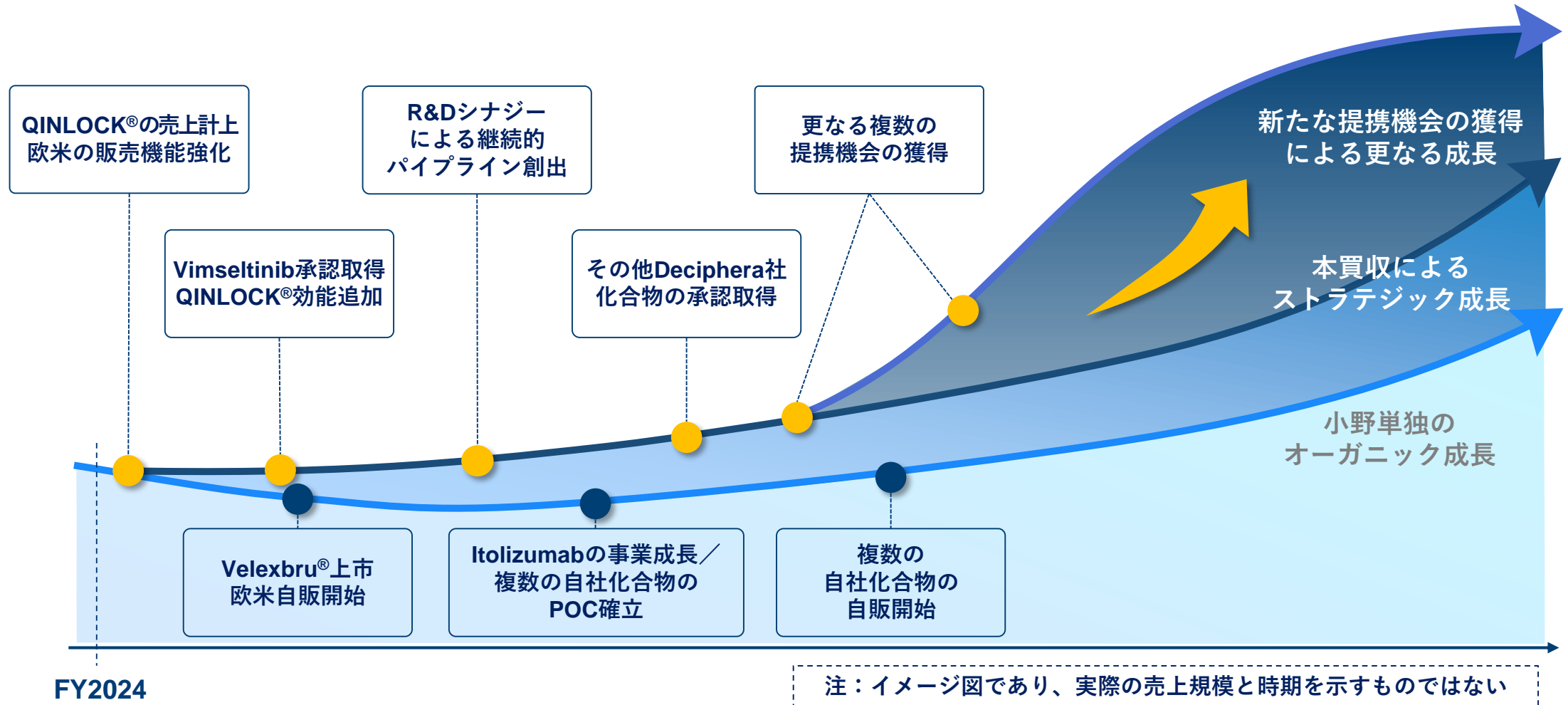
	早期試験	ピポタル試験	申請・承認
固形がん	<b>ONO-7475</b> 膵がん、EGFR変異陽性NSCLC/P1	<b>ONO-4578</b> 胃がん/P2	<b>QINLOCK®</b> の販売インフラを活用し、 消化器領域での競争力強化  <b>QINLOCK®</b> GIST/上市  <b>Vimseltinib</b> TGCT/申請準備  ターゲット医師の80%が重複 <b>QINLOCK®</b> の販売インフラ活用可能
	<b>ONO-8250</b> HER2陽性固形がん/P1	<b>ONO-4578</b> 結腸・直腸がん、膵がん、NSCLC、 HER2陰性乳がん/P1	
	<b>DCC-3084</b> 固形がん/P1	<b>ONO-7914</b> 固形がん/P1	
	<b>DCC-3009</b> GIST/P1準備	<b>DCC-3116</b> 固形がん/P1	
血液がん/ 血液疾患	<b>ONO-7018</b> 非ホジキンリンパ腫、 慢性リンパ性白血病/P1		<b>Velexbru®/ONO-4059</b> 中枢神経系原発リンパ腫/P2  <b>Itolizumab<sup>2)</sup></b> aGVHD/P3  <b>Velexbru®</b> の販売インフラの活用 血液領域での競争力強化
	<b>ONO-4685</b> T細胞リンパ腫/P1	<b>Vimseltinib</b> cGVHD/P2準備	
免疫・ スペシャリティ	<b>ONO-4685</b> 自己免疫疾患/P1		<b>Velexbru®/ONO-4059</b> 天疱瘡/P3
神経	<b>ONO-2020</b> 神経変性疾患/P1	<b>ONO-2808</b> 多系統萎縮症/P2	
	<b>ONO-1110</b> 疼痛/P1	<b>ONO-2910</b> 糖尿病性神経障害、 化学療法誘発性末梢神経障害/P2	

1) 欧米を含む地域での開発が現在実施されている、又は将来実施される可能性のある化合物

2) 2022年12月 Equillum社より、米国、カナダ、オーストラリア及びニュージーランドを含む地域のオプション件を獲得

# グローバルスペシャリティファーマに向けた成長戦略

本買収によりパテントクリフによる収益減少へ対応するとともに、欧米のCapability強化により更なるグローバルライセンス・M&Aの機会を獲得することでグローバルスペシャリティファーマへと成長する



 **小野薬品工業株式会社**

Dedicated to the Fight against Disease and Pain